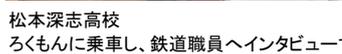


事業番号	15 01 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	公共交通機関を活用した学習活動推進事業費		部局	教育委員会	課・室	教育政策課
			実施期間	H29～	E-mail	kyoiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 子どもたちを取り巻く環境は社会情勢の変化等とあいまって刻々と変化しており、子どもたちにとって必要となる学びを習得するには学校だけでは限界がある。 地域鉄道において、沿線人口の減少等により、輸送人員が減少傾向にある中で、子どもたちの鉄道利用機会が少ないことやマナー面での課題がある。							
	【目指す姿】 地域企業であるしなの鉄道と連携し、地域や社会と関わりながら学ぶ機会や、魅力的な発表の場を提供することにより、高校生が自ら課題を見つけ、解決するための力を育成する。							
	【実施内容】 しなの鉄道との共催イベントの実施、県立高校における「公共交通機関を活用した学び」の機会の創出							
指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]								
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況		
1	「学習の場」として鉄道を利活用し、地域を学ぶ県立高校数	16校	3校 ↘	4校 ↗	16校	未達成		
2								
3								
4								
					事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
						前年度繰越	0	0
						現計予算	2,819	3,339
						合計(A)	2,819	3,339
						うち一般財源	0	0
					決算額(B)	979	77	
					職員数(人)	0.6	0.6	
成果指標設定理由	・以前と比べて社会との接点が少ない子どもたちの社会性を高めるため、より多くの児童・生徒に「教育の場」としての鉄道利用促進を図る。							
達成状況の分析	・10月に発生した台風19号の影響や、新型コロナウイルス感染症対策のための学校臨時休業の影響により、鉄道を利活用した学習活動が困難となったことから目標を達成することができなかった。							

主な取組	✓ 駅やバス停の案内情報における多言語表記の学習 長野高校 県内外のローカル線を中心に、駅やバス停の案内情報における多言語表記の調査を実施	
	✓ 地元駅で地域・文化・年齢層等を考慮した楽曲演奏 岩村田高校 吹奏楽班の生徒が、地元駅で地域・文化・年齢層等を調査し、その結果をふまえた楽曲を選曲し演奏を実施	
	✓ 長野県の鉄道史（路線と町づくり）の学習 松本深志高校 観光列車「ろくもん」の乗車体験やしなの鉄道株式会社へのインタビュー取材による「長野県の鉄道史（路線と町づくり）」の学習を実施	
	✓ 路線バスの利便性についての学習 松本美須ヶ丘高校 路線バスの利便性についてのフィールドワークを通じた学習を実施	

松本深志高校
ろくもんに乗車し、鉄道職員へインタビューする様子

松本美須ヶ丘高校
路線バスを利用したフィールドワークをする様子

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	・学びのツールとして公共交通機関を活用するだけでなく公共交通機関の課題解決に繋がる学びや、児童生徒が地域と関わりながら「主体的・対話的で深い学び」を実践する機会を創出する必要がある。	・地域に根ざした探究的な学びである「信州学」を推進するとともに、探究学習の成果を学校の枠を越えて発表し学び合う場を設けるための「高校生学びのフォーラム&信州学」推進事業へ統合して実施する。

事業番号 15 01 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	公共交通機関を活用した学習活動推進事業費	部局	教育委員会	課・室	教育政策課
-----	----------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	公共交通機関を活用した学習活動推進事業	979 千円	77 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	県立高校における「公共交通機関を活用した学び」の機会の創出	直接	・ 希望する県立高校が実施する「公共交通機関を活用した学習活動」に関する取組経費の助成を行った。実施校4校